

田村幸策 （たむら こうさく） 國際法學者、法學博士。明治二十一年二月五日山口縣生れ（二八七一）。山口高等商業學校卒。外務省を経て、中央大學教授となる。

著書に『ロステムソンの極東觀（その著述に現はれたる思想及認識を剖判す）』（昭和十一年十一月、千八百日本外交協會）、『英國反省せよ』（合著、昭和十一年十一月七日ダイヤモンド社）、『崩れ英帝國二十五年史』（合著、毎日新聞社編、昭和十八年二月十五日、毎日新聞社）、『米國の世界戦略』（合著、大東亞戰爭調査會編、昭和十九年五月二十日毎日新聞社）、『アメリカの世界制覇主義の解剖』（合著、太平洋協會編、昭和十九年九月二十日太平洋協會「出版部」アメリカ研究叢書）、『田村幸策論文集』（国土館大學新聞編集局編、昭和五十六年十一月四日国土館大學）等。

